



酒井 邦嘉 (SAKAI Kuniyoshi)

東京大学大学院総合文化研究科 教授

東京大学理学部卒業、
同大学院理学系研究科博士課程修了。
理学博士。

東京大学医学部 第一生理学教室 助手、ハーバード大学医学部 リサーチフェロー、マサチューセッツ工科大学言語学・哲学科 客員研究員、東京大学大学院総合文化研究科 助教授・准教授を経て、2012 年から現職。同理学系研究科物理学専攻教授兼任。2014 年より日本学術会議連携会員。

言語脳科学と脳機能イメージングの研究をしており、具体的研究テーマとして、(1) 人間を対象とする脳機能の解析、(2) 言語を中心とした高次脳機能のメカニズムの解明などがある。主な著書に『言語の脳科学』『科学者という仕事』(中公新書)、『脳を創る読書』『考える教室』(実業之日本社)、『脳の言語地図』『ことばの冒険』『こころの冒険』『脳の冒険』(明治書院)、『芸術を創る脳ー美・言語・人間性をめぐる対話』(編著、東京大学出版会) など他多数。その他共著、研究論文多数。

第 19 回塚原伸晃記念賞受賞 (2005)、第 56 回毎日出版文化賞受賞 (2002)、第 1 回日本神経科学学会奨励賞受賞 (2001)。